



行政相談委員制度 60 周年記念 式典の開催

総務大臣表彰、総務大臣感謝状の伝達等を行います

- ◆ 行政相談委員制度は、令和3年7月、発足から60周年を迎え、総務省では6月30日(木)に京王プラザホテル(東京都新宿区)において、行政相談委員制度60周年記念式典(以下「中央式典」という。)を開催します。中央式典の様子は、全国50か所に設けた地方会場においてWeb配信されます。
- ◆ 総務省山口行政監視行政相談センター(所長:高實祐一)は、中央式典の開催に合わせ、以下のとおり、山口県内の会場において総務大臣表彰(行政相談委員1人)及び総務大臣感謝状(1団体)の伝達等を行います。

行政相談委員制度 60 周年記念式典(山口会場)

【日時】 令和4年6月30日(木) 13時45分～16時00分

【場所】 ニューメディアプラザ山口 多目的シアター(山口市熊野町1-10)

【次第】

- ① 開会(13時45分)
- ② 山口行政監視行政相談センター所長あいさつ
- ③ 県内受表彰者紹介等
- ④ 行政相談委員制度60周年記念式典(《Web配信》14時00分～14時30分)
 - ・ 開式の辞
 - ・ 国歌演奏
 - ・ 式辞(総務大臣)
 - ・ おことば
 - ・ 祝辞(内閣総理大臣)
 - ・ 功績者顕彰(内閣総理大臣感謝状、総務大臣表彰、総務大臣感謝状)
 - ・ 行政相談委員からのメッセージ
 - ・ 閉式の辞
- ⑤ 総務大臣表彰・総務大臣感謝状伝達
- ⑥ 来賓祝辞
- ⑦ 記念撮影
- ⑧ 特別講演会(《Web配信》15時00分～16時00分)
講師:増田 明美氏(スポーツジャーナリスト)
- ⑨ 閉会(16時00分)

【出席者】 下松市副市長 玉井 哲郎 様(来賓) ※市長代理
株式会社みなと山口合同新聞社 取締役山口新聞編集局長
宇和島 正美 様(感謝状贈呈) ※代表取締役社長代理
行政相談委員
山口行政監視行政相談センター職員

【受彰者】 内閣総理大臣感謝状 行政相談委員 ながむね まさゆき 長宗 正之 (周南市)
総務大臣表彰 行政相談委員 たなか みちお 田中 三千男 (下松市)
総務大臣感謝状 株式会社みなと山口合同新聞社
代表取締役社長 いのうえ まさあき 井上 正明 様

※ **受彰委員・団体の詳細については、別紙参照。**

内閣総理大臣感謝状受彰者の長宗行政相談委員は、中央式典(京王プラザホテル)に出席する予定です。

◆ 行政相談とは

行政相談は、担当行政機関とは異なる立場から、行政などへの苦情や意見、要望を受け、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かす仕組みです。無料で相談でき、秘密は固く守られます。

◆ 行政相談委員とは

行政相談委員は、総務大臣が委嘱した民間有識者で、全国には約 5,000 人が、山口県内には 78 人が配置(各市町に1人以上。令和 4 年 6 月 1 日現在)されています。

行政相談委員は、無報酬のボランティアとして、国民の皆様から、国の行政活動全般に関する苦情や相談を受け付け、相談者への助言や関係機関に対する改善の申入れなどを行っています。

(注) 取材を希望される場合は、下記連絡先までご一報ください。また、取材に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、事前に検温していただき、発熱や体調不良が認められる場合は取材をお控えください。併せて取材の際には、マスク着用及び手洗いの徹底をお願いいたします。



総務省行政相談センター

まぐみみ山口

(連絡先)

山口行政監視行政相談センター
担当：行政監視行政相談課 沖、山下
電話：083-922-1591

◆ 山口県内の受表彰者について

内閣総理大臣感謝状(1名)

長年にわたり他の委員の模範となる活動を展開、あるいは委員団体の役員として委員制度の発展に貢献した行政相談委員等に贈られるもの(全国で60人に贈呈)

行政相談委員 ながむね まさゆき
長宗 正之

委嘱年月日:平成11年4月1日(委嘱期間23年2か月)

担当区域:周南市

役員歴:山口行政相談委員協議会理事(平成22年5月～)
同協議会副会長(平成27年5月～)



<活動内容>

長宗 正之 委員は、平成11年4月1日付けで総務大臣から行政相談委員を委嘱され、23年2か月の長きにわたり、委員として活動しています。同委員は、旧新南陽市の区域を拠点として、毎月1回、「周南市学び・交流プラザ」で相談所を開設するなどして、地域住民の身近な相談相手として困りごとに耳を傾け、相談者への助言や関係機関に対する改善の申入れなどを行っています。

また、同委員は、「周南ふるさとふれあい物産展」の場において、行政相談・行政相談委員制度や改善事例をPRするための行政相談パネル展や特設行政相談所を開設しているほか、毎年度、地域の団体(民生委員・児童委員協議会や高齢者学級等)を対象とした行政相談懇談会において、行政相談委員の活動等を説明するなど、行政相談の周知・広報に積極的に取り組まれています。その他、市内の小学6年生を対象に「行政相談出前教室」を開催(不定期)し、行政相談を広報するとともに、児童の身近な困りごとについての相談も受け付けるなど積極的な活動を行っています。

<改善事例>

「坂道にあるガードレールのすき間から落ちそうで危ない。」との相談を受け付けました(出前教室での相談)。委員が現地確認を行った結果、相談のとおりであったため、関係機関に連絡し、対応依頼しました。その結果、関係機関は、すき間をふさぐ工事を実施しました。

(改善前)



(改善後)



総務大臣表彰(1名)

長年にわたり行政などへの苦情や意見・要望を受け付け、その解決に尽力し、業績が特に顕著である行政相談委員に贈られるもの(全国で100人に表彰)

行政相談委員 たなか みちお
田中 三千男

委嘱年月日:平成19年4月1日(委嘱期間15年2か月)

担当区域:下松市



<活動内容>

田中 三千男委員は、平成19年4月1日付けで総務大臣から行政相談委員を委嘱され、15年2か月の長きにわたり、委員として活動しています。同委員は、下松市を拠点として、毎月1回、「下松市社会福祉協議会(福祉センター)」や「下松市役所」で相談所を開設するなどして、地域住民の身近な相談相手として困りごとに耳を傾け、相談者への助言や関係機関に対する改善の申入れなどを行っています。

また、同委員は、「下松市福祉健康まつり」の場において、行政相談・行政相談委員制度や改善事例をPRするための行政相談パネル展や特設行政相談所を開設しているほか、地域の団体(婦人会や民生委員・児童委員協議会)を対象とした行政相談懇談会において、行政相談委員の活動等を説明するなど、行政相談の周知・広報に積極的に取り組まれています。

<改善事例>

「国道にある法務局の案内表示が他の標識と重なって、ドライバーから見えにくい。」との相談を受け付けました。委員が現地確認を行った結果、相談のとおりであったため、関係機関に連絡し、対応依頼しました。その結果、関係機関は、重なる標識を前方へ移設し、案内表示が見えやすくなりました。

(改善前)



(改善後)



総務大臣感謝状(1団体)

委員活動に深い理解を示し、相談所の提供、宣伝啓発業務への協力等、委員活動への協力・支援を行った団体等に贈られるもの(全国で21団体等に贈呈)

株式会社みなと山口合同新聞社 代表取締役社長 いのうえ まさあき 井上 正明 様

<贈呈理由>

平成8年12月から、行政相談委員や山口行政監視行政相談センターが処理した事例を山口新聞の「行政相談Q & A」に継続して掲載(毎月第4水曜日)していただき、読者に対して行政相談制度の仕組みや行政相談委員活動を広報していただきました。

当該コーナーでは行政相談委員や山口行政監視行政相談センターの解決事例等を紹介していただくとともに、行政において困った場合は、地域で活躍する行政相談委員や山口行政監視行政相談センターへの相談を毎回読者に促すなど、行政相談制度及び行政相談委員制度の普及啓発を継続的に実施した功績が大きいため、総務大臣感謝状を贈呈することとなりました。